



Sailing Sailing ! 船出へようこそ

5月の爽やかで陽気な風に吹かれて、OSAKA MEN'S CHORUSの船出が始まります。今回で第33回目となりました。「えっ！これは合唱の演奏会じゃないの？」と一瞬不安になったあなた。ご安心ください。いずみホールは決して海には浮かびません。これから楽しんでいただくのは合唱の演奏会です。

我々は合唱ジャンルの中でも、取り分けSea Chantyを大切に扱っています。大切にあまり、なんでもかんでも帆船に沿った言い回しをして喜んでいます。先月などは、大阪市の帆船「あこがれ」に乗り込んで士気高揚をはかった次第です。

さて今回は「American Music・植生の宿からJazzまで」と題して、米国がピュラー音楽の生成と発展をたどるステージ構成にしています。我々が創立した当初はSea Chantyはもちろん、Robert Shawの小品集やWestern



Songなどがレパートリーでした。そこで今回その原点に立ち返り、我々の音楽の「ふるさと」に再挑戦することになりました。

当然、英語の歌詞ばかりですが、アレンジのスタイルが違いますので決して飽きることはありません。よく聞き比べてみてください。

また我々オリジナルの訳とコメントを掲載していますので、ご参考になさ

てください。

いよいよ船出の時間が迫ってまいりました。心の準備はよろしいでしょうか。涙あり、笑いあり、ロマンあり、サスペンスありの航海です。観客満足度向上を目指して練習に励んでまいりました。どうぞ最後まで平常心でお楽しみ下さい。

(Captain 有田仁一)

演奏曲順を 一挙公開

Sea Chanties

in "Authentic chorus style"

Blow The Man Down
Shenandoah
Bound For The Rio-Grande
Santy Anna
A-Roving
指揮 石津佳彰
ウッドベース 加藤 克雄
ハーモニカ 小倉 剛
ギター 大賀 拓也

Euro American Music in "Barbershop chorus style"

Home Sweet Home
Seeing Nellie Home
Red River Valley
I've Been Working
On The Railroad
My Old Kentucky Home
Tonight Tonight
You'll Never Walk Alone
指揮 安井直人

～休憩 15分～

Afro American Music in "Gospel chorus style"

Good News!
Walk With Me

Dry Bones
A Quiet Place
Hallelujah!
指揮 安井直人
ピアノ 宮崎剛

Standard Jazz Numbers in "Jazz chorus style"

Jamaica Farewell
Dream
Route66
Moon River
Hello, Dolly!
指揮 石津佳彰
ピアノ 宮崎剛
ウッドベース 加藤 克雄
ハーモニカ 小倉 剛
ギター 大賀 拓也

Sea Chanties in "Authentic chorus style"

Blow The Man down

(そいつをぶっ倒すから
ちょっと待ってくれ
おいお前、そいつをぶっ倒せ
今すぐぶっ倒せ
ぶっ倒すから、ちょっと待ってくれ)

パラダイス通りを歩いていたら
若くてかわいい女の子に
出くわしたんだ

その女の子の言うことにゃ
この船と一緒に海へ出ない?とさ

ところが外海に出たとたん
乗組員がおれを丸太で
殴り倒したんだ

最後に忠告しとくけど
若い女には気をつけろよ

()の掛け声の部分は、殴り合っている者の周りをみんなが取り囲み、わいわいはやし立てている状況です。船乗りの人手不足を補う為に、他の船の船員を力づくで拉致していく、海賊船まがいの船があったようで、そこでは殴り合いでルールが決まっていたようです。若い女の子の色香に迷い、一緒に乗ったその船は、実はその手の船のようです。

Shenandoah

おお、シェナンドー
おまえの流れる音を聞きたい
(遠く遠く離れてしまった
豊かな河よ)
おお、シェナンドー
おまえの流れる音を聞きたい
(広いミズーリを横切り
われわれはおまえから
遠く遠く離れて行く)

おお、シェナンドー
おまえの娘が大好きだ
(遠く遠く離れてしまった
豊かな河よ)
逆巻く流れを超えて
彼女を連れて行くぞ

(広いミズーリを横切り
われわれはおまえから
遠く遠く離れて行く)

おお、シェナンドー
おまえの元を去って行くが
(遠く遠く離れてしまった
豊かな河よ)

おお、シェナンドー
おまえを忘れはしない
(広いミズーリを横切り
われわれはおまえから
遠く遠く離れて行く)

Sea Chantyの中でも、最もポピュラーな曲です。1800年代の初めから、アメリカ各地で愛唱され、歌詞も多様に変化しました。

シェナンドーの名は

- ①川の名
- ②インディアン酋長の名
- ③酋長の娘の名

など諸説があります。今回上演の曲は、一番が①、二番が②、三番が③と思える内容です。

Bound For

The Rio-Grande

魚が船出の準備をする
歌を歌ってあげよう
リオグランデに向って船出するから

サリーとスーに別れの歌を歌おう
そしてこの歌を聞いてくれる
君にもね
リオグランデに向って船出するから

船は港を出て
へ先を南に向ける
リオグランデに向って船出するから

樅の木、トネリコ、カバの木
ふるさとの北の国では芽を
吹いてる頃かな
でもぼくたちは南の
リオグランデに向うんだ

イギリスを出て、南米のリオグラン
デに行く船が、途中の停泊地のアメ

リカを船出する時に歌う歌です。故郷の北の国(イギリス)へのなつかしさを抱きながらも、正反対の南方のリオへ船出する船乗りの郷愁と、停泊地の人々との別れの寂しさを歌っています。

Santy Anna

サンタ・アナは勝負に勝った
モンテレーの戦いで勝利した

彼はドイツ軍も破り
イギリス軍も破った

敵はサンタ・アナを捕え処刑した
誰が彼を忘れようか

彼は陽気な將軍だった
陽気だが、わがままな將軍だった

サンタ・アナは勝負に勝った
テイラー將軍は逃げ出した

サンタ・アナ(1794~1876)は、メキシコの大統領。アメリカとの戦いで、テキサスやカリフォルニアを失います。歌詞が史実と違いますのは、急速に発展したアメリカに対するやっかみから、イギリス人水夫を中心に、判官びいきの内容で歌われていたからです。

A-Roving

アムステルダムに
ある女が住んでいた
(いいか

おれの言う事をよく覚えとけよ)
彼女はおめかけさん
だったんだ

※(かわいいこちゃん
君の気まぐれには
もう二度と付き合わないよ)
(君の気まぐれに付き合ったら
ひどい目に合っちゃったよ)

おれは彼女を散歩に連れ出した
そしていい雰囲気になったんだ

そこで彼女を膝の上に乗せたら

何するの、離して！
と逃げられちゃった

※繰り返し

Sea Chantyの中でも、今でも多くの

人が歌っている曲目の一つのようですね。何年前か、世界中の水夫の集まった催しにOMCが出演した際、一番受けてましたし、大勢の人が一緒に歌ってました。歌詞は何種類か有り、長さもまちまちです。共通

していますのは、彼女といい雰囲気になっても、最後は彼女に振られる、亭主と称する男が出てきてひどい目に合うなど、どんでん返して終わっている点です。

Euro American Music in "Barbershop chorus style"

Home Sweet Home

喜びの中にも
宮殿の中にも
私たちの魂は漂泊している
どんなにみすぼらしかろうとも
わが家にまさるものはない
わが家にいると
天国からの不思議な力で
私たちが清めてくれる
ような気がする
そんな不思議な力は
世界中捜しても
わが家のほかにどこにもない
わが家、いとこのわが家
わが家にまさるものはない

心は打ちひしがれているけれど
わが家へ帰ろう
わが家に戻りさえすれば
心は慰められる
私はもう2度とこの家を出て行くことはない
どんなにみすぼらしかろうとも
わが家にまさるものはない
わが家、いとこのわが家
わが家にまさるものはない

皆様よくご存じの「埴生の宿」元歌です。元々はオペラの中の曲でしたが、今ではオペラは上演されず、この曲だけが世界的レベルで有名になっています。

「わが家(や)にまさるものはない」のフレーズは、英米ではいろいろな人のスピーチや不動産広告など、多岐にわたって引用され、「オズの魔法使い」にも出てきます。

演奏している私達が言うのもなんですが、正直なところ「埴生の宿」の訳詩の方が、英語の原詩よりはるかに文学的です。

埴生の宿も わが宿
玉の装い うらやまじ
のどかなりや 春の空
花はあるじ 鳥は友
おお わが宿よ
楽しとも たのもしや

ふみ読む窓も わが窓
瑠璃の床も うらやまじ
清らなりや 秋の夜半
月はあるじ 虫は友
おお わが窓よ
楽しとも たのもしや

Seeing Nellie Home

夜空には星が明るくまたたき
岸辺は青い月の光に包まれ
そんな中、ネリーを送って行く
ダイナおばさんの
キルティングパーティーの帰りに
(家をもっと遠けりやいいのになあ)

ぼくと腕組む彼女の手は
とても軽く、波間の泡のよう
(消えないでほしい)

思いきって告白しようにも
なかなかその勇気が出ない
(でも、やっと言えた！)

あの日芽生えたものは
大きくふくらみ
ぼくの生きがいとなった
(この日は、マイ・記念日だ)

パーティーのあと、好きな女の子を
家まで送っている時の、若者のうきうき
わくわくした気持ちを歌っています。
「ダイナおばさんのキルティング
グ・パーティー」"Aunt Dinah's
Quilting Party"という題名で演奏され
ることもあります。

Red River Valley

君がこの谷から出て行くなんて
君の輝く瞳、やさしいまほえみ
もう見られないなんて
この世は真っ暗
君は本当にぼくを
照らす太陽だった

君の去っていくこの谷だって
きっとさびしがってることだろうよ
たくさん人の心を傷つけたんだよ
もちろん君を思うぼくの心もね

ここは全く違う
海辺の家に戻っても
赤い川の谷で過ごした
楽しい時を忘れないでほしい
花畑で交し合った愛のことも

愛しているなら横に座ってくれ
そんなに急いでさよならを
言わないで
そして忘れないで
この赤い川の谷と
君を心から愛した
カウボーイのことを

アメリカ民謡の代表と言ってもいい
曲で、日本でもかなり昔から知られ
ている曲です。美しいメロディーか
ら、アメリカの雄大な自然を想像して
しまいますが、歌詞はそれとは裏腹
に、大の男のカウボーイが、去り行く
彼女に訴えかける、相当くどい、未
練がましい内容です。

最近の歌で、「おれの話を開け、5
分だけでもいい！」と、いかつい男
が未練がましく訴えるものがあります
が、それを思い出しました。くどい
のは、若さの特権でしょうか？

I've Been Working On The Railroad

ご乗車ありがとうございます！
全員乗車完了！
全線異常なし！

おいらは鉄道で働いてきた
生涯のすべてをね
おいらは鉄道で働いてきた
長い長い間さ

ああ、起床の笛がなってるよ
あの音で朝早く起こされるのさ
班長が怒鳴り始めるぞ
機関車ダイナ号、汽笛を鳴らせ！

ダイナ、ダイナ、汽笛を鳴らせ！
汽笛を鳴らせ、ポッポー！

おいらは鉄道で働いてきた
だって鉄道マンだからさ
おいらは鉄道で働いてきた
汽車が速く走れるようにね

ああ、起床の笛がなってるよ
起きろってさ、ああいやだ、いやだ
班長が怒鳴り始めるぞ
さっさと働いてね

そうさ、おいらは鉄道で働いてきた
一日中、一生涯ずっとね

「線路は続くよどこまでも」の元歌
です。日本では楽しい汽車の旅の
歌として愛唱されてきましたが、
元々は、鉄道での労働のつらさを面
白く歌にしたものです。

My Old Kentucky Home

あのなつかしい
ケンタッキーの家では

夏は陽射しが明るく
みんな陽気だった
トウモロコシは実り
草原に花は咲き
小鳥の歌は絶えることがなかった
若者は小屋に集い
とにかく元気で
幸せで、みんな輝いていた
でもだんだんつらい日が多くなり
ケンタッキーのわが家とも
別れの時が来た

ねえ君、もう泣かないで
とてもつらい日になったけど・・・
ケンタッキーのわが家のために
歌おうよ
遠く離れてしまうわが家のために

諸事情により、昔から住んでいた
家を去らなければいけないその時
の、さびしさ、悲しさを表現していま
す。フォスターの名曲の中でも、メロ
ディーの美しさでは代表的なもので
しょう。

ケンタッキー州の州歌にもなっ
ています。ただ、フォスターはケンタッ
キー州には行ったことがない、とい
うのが通説です。人から聞いた話をも
とに、このイメージを作り上げたよう
です。

Tonight Tonight

今夜、今夜は他ならぬ夜
今夜、明けの明星は出てこない
今夜、今夜は恋人に会う夜
星も動かずにいてくれる

1分が1時間にも思えるほど
時はゆっくり過ぎ、まだ空は明るい

おお月よ、明るく輝いてほしい

終わりのない1日
終わりのない夜となるために

「ウェストサイド物語」の中で、最も
有名な歌です。ストーリーは現代版
「ロミオとジュリエット」で、映画も
ミュージカルもヒットしましたが、それ
以上にこの曲は単独でヒットし、永
遠のスタンダードとなりました。

You'll Never Walk Alone

嵐の中を歩く時でも
顔は上に向けなさい
暗闇を恐れてはなりません
嵐が過ぎればあとは青空
ひばりだって歌っているかも

※風が吹いていても
進んで行きましょう
雨が降っていても
進んで行きましょう
たとえ夢が破れたとしても
前へ前へと行きましょう
心に希望を持って
一人じゃないんだから
こんなに大勢の仲間
に囲まれているのだから

暗雲立ち込め、嵐は吹き荒れ
あたりが暗くなったとしても大丈夫
あの雲の向うには輝く光があり
虹の橋もかかっているんだから

※繰り返し

ミュージカル「回転木馬」の挿入歌
です。物語はゴースト・ラブ・ストー
リーです。一方で、サッカーのイング
ランド代表チームの応援歌になり、
やがて、世界中のサッカー・ファン
の愛唱歌となりました。

Afro American Music in "Gospel chorus style"

Good News!

神の国で家をいただいた
ああ、なんて良い知らせだろう
神の国で家をいただいたんだ
本当に、良い知らせだ
※私は神様に命を捧げ
十字架を背負い

イエスのもとへ参ります
本当に、良い知らせだ

神の国で賛美の衣をいただいた
ああ、なんて良い知らせだろう
神の国で賛美の衣をいただいた
本当に、良い知らせだ

※繰り返し

神の国で冠をいただいた
ああ、なんて良い知らせだろう
神の国で冠をいただいた
本当に、良い知らせだ

※繰り返し

神の国で救い主を得た
あぁ、なんて良い知らせだろう
神の国で救い主を得た
本当に、良い知らせだ

※繰り返し

Good Newsの意味をたどっていき
ますと、次のようになります。

Good News→良い知らせ→
福音→神の言葉→God spell→
ゴスペル

Walk With Me

主よ、どんな時にでも
私と共に歩んで下さい
巡礼の旅の時にも
私と共に歩んで下さい

あなたがお与えになった
試練の時にも
私と共に歩んで下さい
私達の周りに暗い影が
差し込んで来ても
私と共に歩んで下さい

奴隷としてアフリカから連れてこら
れた人々は、キリストの救いを知る
ことにより、それまで一人荒野をさま
よっていた心境から救われ、大きな
勇気を得たことでしょう。神と「ともに
歩く」ということは、新しい自分が始
まるということであり、大いなる希望
の輝きの中に導いてもらえること
です。

Dry Bones

エゼキエルは枯れた骨に言った
主の言葉を聞けと

エゼキエルは枯れた骨を
寄せ集めた
主の言葉を聞け

つま先骨に 足の甲骨をくっつけよ
足の甲骨に かかと骨をくっつけよ
かかと骨に くるぶし骨をくっつけよ
くるぶし骨に すね骨をくっつけよ
すね骨に ひざ骨をくっつけよ
ひざ骨に 太もも骨をくっつけよ
太もも骨に 骨盤をくっつけよ
骨盤に 背骨をくっつけよ
背骨に 肩骨をくっつけよ
肩骨に 首骨をくっつけよ
首骨に 頭蓋骨をくっつけよ
さあ、ここで主の言葉を聞け

骨は動き出した
主の言葉を聞け

反対側からも組合せを確認せよ
主の言葉を聞け

頭蓋骨が 首骨から出るように
〈中略〉

足の甲骨が 爪先骨から出るように
さあ、ここで主の言葉を聞け

枯れた骨から、神は生命を再生し
たという、旧約聖書の希望を与える
話から作られた歌です。奴隷生活を
強いながらも信仰を得た人たちに
大きな希望を与えたことでしょう。日
本では1960年代に、デューク・エイ
セスが好んで歌っていました。

A Quiet Place

私がいるのは
とてもおだやかな場所
あわただしさとは縁がない
そこにいれば神様に
悩みを取り除いてもらえる
木々や花々に取り囲まれ

神様と共に
おだやかな時を過ごせば
日頃の憂さなど
遙か遠くに飛んでいく

現実には私の居場所は
狭い庭の一角か
何もない山のてっぺん
かもしれないが
神様と共にいると思えば
力もわいてくる
さあ今度は私が
世の多くの人のために
何かをしてあげる番だと強く思う
それが私の新しい務めなのだ

重要なポイントは、後半にありま
す。この人は、神に救われ平穏な境
地にいますが、そこに安住するの
ではなく、今度は私が、世の多くの
人を助けるために立ち上がるんだ、
という、非常に前向きな姿勢を、強い
意志を示しています。

Hallelujah!

ハレルヤ！
神をほめたたえよ！
私たちの主が
全能の神である主が
王となられたのだから

この全世界を治める力は
今や私たちの主と
そのメシアのものとなった
主は末永く統治し続けられる
王の中の王、主の主

ヘンデルのオラトリオ「メサイア(教
世主)」で一番有名な「ハレルヤコー
ラス」のゴスペル版です。曲本来の
持つ華やかさと、ゴスペルの乗りの
良さが、よくマッチしています。

Standard Jazz Numbers in "Jazz chorus style"

Jamaica Farewell

何といっても夜が楽しく
昼は昼で毎日が晴れ！
晴れ！晴れ！
今停泊しているのが
そんなすばらしい国、ジャマイカ

こんなすばらしい所は
他にないというのに
何と、もう次の国へ
行かなくちゃならないんだ
当分戻って来れないだろう
後ろ髪引かれるとは

まさにこの事
キングストンの彼女と
さよならするなんて
市場に行けば
にぎやかな物売りの声
頭に荷物をのせ

ああこの人たちも美人だ
アッキーライスや
タラの塩漬もおいしく
ラム酒は季節関係なしにうまい！

こんなすばらしい所は
他にないというのに
何と、もう次の国へ
行かなくちゃならないんだ
当分戻って来れないだろう
後ろ髪引かれるとは
まさにこの事
キングストンの彼女と
さよならするなんて

あちこちに笑い声があふれ
女の子なんかどこでも
踊りまくってる
アメリカからメキシコまで
一週り旅したけど
やっぱりジャマイカが一番だね

こんなすばらしい所は
他にないというのに
何と、もう次の国へ
行かなくちゃならないんだ
当分戻って来れないだろう
後ろ髪引かれるとは
まさにこの事
キングストンの彼女と
さよならするなんて

「バナナポート」と並ぶ、ハリー・ベ
ラフォンテのヒット曲です。

Dream

気持ちが落ち込んだら夢を見なさい
そして夢見た事をやってみなさい
まずはタバコの煙の輪でも見て
夢見てた昔を思い出してごらん

日々ただ流されるだけじゃなく
夢を見なさい
その夢は必ず実現するのだから
世の中思ったほど
悪い事ばかりじゃないよ
だから夢を見なさい

ミュージカル「足長おじさん」の中
の曲です。この歌の「夢を見る」こと
は、現実逃避ではなく、「夢見た事
を実行する」「夢は必ず実現すると

信じる」という前向きの強い気持ちを
持つことを指しています。

Route66

もし西の方へ車で行くんだったら
おれがいつも使ってるハイウェイを
通るのが一番さ
ルート66を走れば楽しいぜ
シカゴからロサンゼルスまで
2000マイル以上
ずっとずっと続いているんだから
絶対にルート66を通るべきだよ

いいかい、まずセントルイス
ジョブリンとくるね
そしてとても素敵な
オクラホマシティ
それからアマリロ、ギャロップ
フラッグスタッフ、ウイノナ
キングマン、バーストゥ
サンバナディノと続くんだ
このあたりの情報は
押さえておいた方がいいよ
もう一度言うけど
カリフォルニアに行くんだったら
ルート66を走るのが一番さ

1960年代のTVドラマ「ルート66」
の主題歌。この道路は、アメリカの
車社会の代名詞とも言える路線で
した。現在、ルート66は新しい道路
に分断され、消滅していますが、旧
ルートをたどる旅人は後を絶たない
そうです。日本人もけっこう多いよ
うです。

Moon River

あなたは渡れそうもない
広い川みたい
でもいつの日にか
かっこ良く渡ってみせるわ
昔から夢ばかり追いかけてる人
おまけに
私の夢は次々にこわしてしまう人
でも、どこへでも
あなたについて行くわ

こうして二人は漂いながら
世界を見て回るの
一向に落ち着けないけど
一つわかったのは

二人とも同じ虹の彼方を
目指していたこと
だったら虹の橋の途中で
待ち合わせしましょう
幼なじみの
あなたと私

映画「ティファニーで朝食を」の
テーマ曲です。曲が先にでき、後か
ら詩が付けられました。「ムーン・リ
バー」という題名も、オードリー・ヘッ
プバーンのイメージから作り出され
た言葉です。

ちなみに、「ティファニーで朝食
を」の意味は、貧しい少女が、朝、
ティファニーの店の前で、ショーウイ
ンドーを見ながら、クロワッサンをか
じるのが何より楽しみ、と言った事か
ら来ています。

Hello, Dolly

ハロー、ドーリー
おかえり、ドーリー
昔の仲間とところに
戻ってきてくれて、とてもうれしいよ
垢抜けして、きれいになったね
ドーリー
ほんとだよ、ドーリー
とっても輝いていて
有名にもなっちゃって
もうすっかりビッグだね
ほら、部屋が揺れてるだろう
バンドが曲やってるからね
君が好きだった曲さ
これを聞くと昔に戻れるね
さあさあ、みんな何してるの
コートをお預かりして、
さあ、のいたのいた
場所を空けて。
ドーリー、もう二度とどこにも
行かないでくれよ

1964年、ブロードウェイのヒット・
ミュージカル「ハロー・ドーリー」の
テーマ曲です。ルイ・アームストロン
グをはじめとする色々なミュージシャ
ンによって歌われ、演奏されていま
す。

前回リサイタルからのあゆみ

2005年

- 1月 第32回リサイタル
(いずみホール)
- 3月 関西ウェールズ会
St. David's Party出演
(神戸・北野外国人倶楽部)
- 5月 稲本Familyコンサート出演
(開口神社)



- 7月 日韓親善男声合唱演奏会
(すみだトリフォニーホール)



- 第41回夏のバカンス(TDL)
- 9月 ひたすらないのち
愛知演奏会参加
(愛知県芸術劇場)
- 10月 ホームページをリニューアル
ウェールズの夕べ出演
(大阪国際交流センター)
- 12月 帆船「日本丸」にて
Sea Chanty演奏会(神戸港)
大フル・定演(第九)出演
(アルカイックホール)

2006年

- 1月 出帆式(富久屋)
- 4月 帆船「あこがれ」にて
Sea Chanty演奏会(ATC)
日独親善男声合唱演奏会
(梅田・旧済美小学校)



日韓親善男声合唱演奏会

～OMC・TLT・KMC～

入場率は86.5%とのこと。1600人近い観客で会場は埋め尽くされた。

OMC 終演後、メンバーは手を振って退場。観客もそれに応える。充実した東京初デビューの演奏会だった。

合同演奏は大勢の観客に感動を与えた。「冬ソナ」のピアノ伴奏が始まった途端大拍手。指揮者は中断して客席へ一礼というハプニングまであった。

OMCもだいぶ練習を重ねたけど、TLTはもっと徹底していた。質の高い合同演奏だった。終演後のストームというか、握手・抱擁へも自然に流れた。

打ち上げにてKMCより記念牌を呈呈された。牌に書かれたメッセージは「素敵で、感動溢れる男声合唱の夜でした。合唱の兄弟たちの友情を胸に深く刻みながら、貴合唱団の益々のご発展をお祈りします。」とあった。(航海日誌2005年7月19日付より)

帆船日本丸の船上Sea Chanty

12月4日神戸港停泊中の船上にてSea Chantyを歌う

今回のきっかけは「帆船・日本丸」の池田船長からの一通のメール。OMCのホームページを見つけて問い合わせられて来たのです。Sea Chantyが大好きという船長のリクエストを受けて、船上コンサートが実現しました。

雨模様の日曜日、神戸・メリケンパークに停泊中の「日本丸」を訪れ

ました。一般立ち入り禁止、船長の招待者のみ入船可という標識を横目にタラップを上る。内部は一等航海士などの個室がずらりと並びます。船長室はさすがに広い。全メンバーが揃っても大丈夫。「今日の機会を楽しみに待っていました」とご挨拶。

演奏は割りと広い部屋(教室兼食事室)で行いました。OMCの家族と、船長のご友人達、さらに乗組員の一部が観客。オープニングのSailing。そのあとは長友の司会で進行しました。船長よりのリクエストだったSwansea Townも加えて、アンコールを入れて6曲歌



いました。

終了後は船長部屋で、サンフランシスコで仕入れたビールと、ハワイで仕入れたパイナップルジュースを振舞っていただきました。その後、甲板を船長自らご案内。関連することとして、Swansea Townででてくるmake me fastの説明。錨を巻きつける留め金のことのようですが、Nancyを繋ぎ止めたい、というような意味になっているとの説明。さらに長友が質問したThe Shaverのthe lubber's hole。初心者が登る場所は?という質問にも詳しく答えていただきました。その他、椰子の実を半分に切ったデッキブラシ、床はチーク材のため、普通のたわしではすぐ使えなくなる、場合によっては砥石も使用とのこと。

Sea Chantyに詳しい池田船長。演奏中は一緒に口ずさみ、好きなフレーズでは目頭を押さえるシーンもありました。OMCにとっても、帆船上で演奏ができるという、めったにない機会を満喫できた、得がたい経験でした。(航海日誌2005年12月19日付より)

素晴らしいゲスト

宮崎剛(みやざきたけし)

…ピアノ、編曲

彼にとって今年は演奏活動開始15周年の節目の年である。それを記念して9月15日にこの『いずみホール』で大阪シンフォニカーを招いて協奏曲リサイタルを開催する。というと純粋にクラシック音楽のみを採求してきたと思われるかも知れないが、ガーシュインやピアノソナ作品を掌中に収めるなど、ジャズ、ポピュラー音楽に至るレパートリーの豊かさは群を抜いている。また、学生時代から現在に至る数多くの合唱団とのかかわり…ピアノ奏者としてだけでなく、その合唱団に適した楽譜を提供する編曲家として…が、彼の音楽的視野を成長させたのであろう。最近では'03の地元和泉市の『弥生の風ホール』のこけら落とし公演での処女作品の発表や、この春新設されたばかりの小学校の校歌の作曲で新聞紙面を賑わせたように、作曲の分野での活躍が顕著である。まさに気鋭の音楽家としての評価を確立している。後進の指導と

しては大阪音楽大学他で講師を歴任している。現在は同大学付属音楽院で、本日もその実力が発揮されるであろう「即興演奏」の講座、また、NHK大阪、神戸両文化センターでのピアノの生演奏中心の音楽講座を担当するなど、その活動はさらに拡がるばかりである。日本演奏連盟所属。近況はこちら→ URL: <http://www.grouppm.jp/>



出演者をご紹介

～OMCの愉快的仲間～

- | | |
|-------|--|
| ◇トップ | 田中潤一
福田孝祝
湯本 節 |
| ◇ベース | 市原 肇
岩井 爽
宇野健一
大西 亘
久保 毅
新谷喜久夫
中西純三
藤川雄紀
堀 清
牧 伸夫
簗津正尚
宮崎吉史
吉田真一 |
| ◇セカンド | 池田泰延
斎藤 蔚
佐竹広吉
長友伸吾
松岡康生
安井直人
山下八郎 |
| ◇バリトン | 有田仁一
石津佳彰
岩間克昭
柏原正邦
加藤克雄
高橋佳己 |
| ◇賛助 | 服部光代 |
| ◇伴奏 | 大賀 拓也
小倉 剛 |

持ち替えの名手

～冴える匠の技～

前回のリサイタルから小倉さんにハーモニカの伴奏をお願いしています。今回もセンスの良い演奏を期待しています。今日は音域や臨時記号の関係で持ち替えが多発する曲があります。演奏もさることながらその手さばきも絶妙です。とくにご覧あれ。



本日のご感想はBBSへ

<http://omc.boy.jp/>

メンバー募集

今回の公演をご覧になって「世の中にあんなに楽しそうにやっつい人達がいるなんて知らなかった。私も試しにやってみよう」という方のご参加をお待ちしています。

今回は英語の歌ばかりでしたが、次回は日本語で骨太な曲に挑戦します。

◎練習日時

毎週月曜 18:30 ～ 20:45
プラス
毎月第4日曜 9:30 ～ 16:30

◎場所

月曜は「梅田東学習ルーム」



阪急梅田駅が最寄。ヤンマーと百又ビルの間を20m程です。元小学校の校舎を利用した施設です。日曜はいろいろ変わります。確認してから

お出でください。

◎会費月3,000円ポッキリ
学生は1,000円ポッキリ

◎問合わせ

Tel 075-982-4096(有田)
E-mail jarita@galaxy.ocn.ne.jp